



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



## 研修医日記

作成者：芦田 雄汰朗（1年次）

初めまして。研修医1年目の芦田雄汰朗です。

現在、外科で研修しております。研修が始まったばかりということもあり、慣れない場所でご指導いただきながら日々精進しております。初めて金谷公園の満開の桜を見ることができ、大変うれしく思います。弘前公園の桜も同様ですが、ものの風情が分からない私でも桜に心動かされますから、この花の魅力は計り知れないことが分かります。

さて、自身にとって初めての研修医日記を書くということで、ここで自己紹介をさせていただきます。

出身は青森県北津軽郡板柳町です。高校進学をきっかけに弘前へ通うようになり、大学進学をきっかけに弘前で一人暮らしを始めました。青森県出身ではございますが、今回の研修でむつ市に参り、ぐっと自身の範囲が広がった感じがします。

5歳から22歳まで剣道をしており、剣道四段を取得しております。しかしながら、約2年間のブランクがあり、その段位に見合う腕前かと言われると首を縦に振ることができません。「元」四段といったところでしょうか。友人に勧められて始めた剣道ですが、その精神性が私は好きで、頭に巻く手拭いに書かれている言葉の意味を知ることが好きでした。至誠、克己、切磋琢磨のような様々な言葉が書かれている中で、私が好きな言葉は木鶏です。何事にも動じない様という意味らしく、聞いた話ですが有名な横綱のセリフにも出てくるとのことです。大変心に残る意味ではございますが、それに対して「鶏」という漢字が入っていることに面白さを感じ、お気に入りのポイントです。

気が付くと、むつ市での生活が1ヶ月を過ぎようとしています。新しい環境にも次第に慣れてきました。とは言いますが、元来インドアなので街並みに慣れたかどうかは未だ不明です。休日は基本的に自室で読書や動画鑑賞をすることが多いです。読書は大学進学をきっかけに興味を見つけた一心で始めたものですが、何とか今でも継続できています。最近では書籍から電子書籍への移行期が自分の中であり、暗くてもバックライトで本が読めることに感動しております。また、本棚が必要ないことも利点の一つと感じております。大学生の頃と比較して読むペースが遅くなってしまったので、今の生活に慣れながら戻っていきたいと考えております。

以上、自己紹介となります。今後もこの日記を書く機会があると思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。